

## 世田谷区の花 サギソウ



サギソウは青森、北海道を除く日本各地の低地の日当たりの良い湿地に自生するラン科の植物ですが、低地の開発によって自生地が激減し、準絶滅危惧種に指定されている植物です。

4月中旬頃、地上に芽を出し、6月下旬から7月中旬にかけて正に白鷺が飛ぶような形をした、純白の美しい花を咲かせます。これまで世田谷区では開花期が7月上旬～8月中旬でしたが、現在は温暖化に伴い、フラワーランドでは開花期も早くなっています。

かつて世田谷区に多数自生し、サギソウにまつわる伝説も残っていますが、残念ながら現在は世田谷区に自生していません。代わりに区立の「鶯草園」が伝説ゆかりの地、九品仏浄真寺に作られ、開花時期のみ植えこまれます。フラワーランド(瀬田農業公園)でも水辺にサギソウを配して来園者に楽しんでいただいています。

昭和43年に公募により「区の花」に制定されています。

### <サギソウの植え方・育て方>

#### 容器

乾燥を嫌いますが、一方で鉢中の蒸れも嫌いますので、浅めの鉢を使うことが良いとされています。今回はプラスチック製の鉢(5号鉢)を使います。

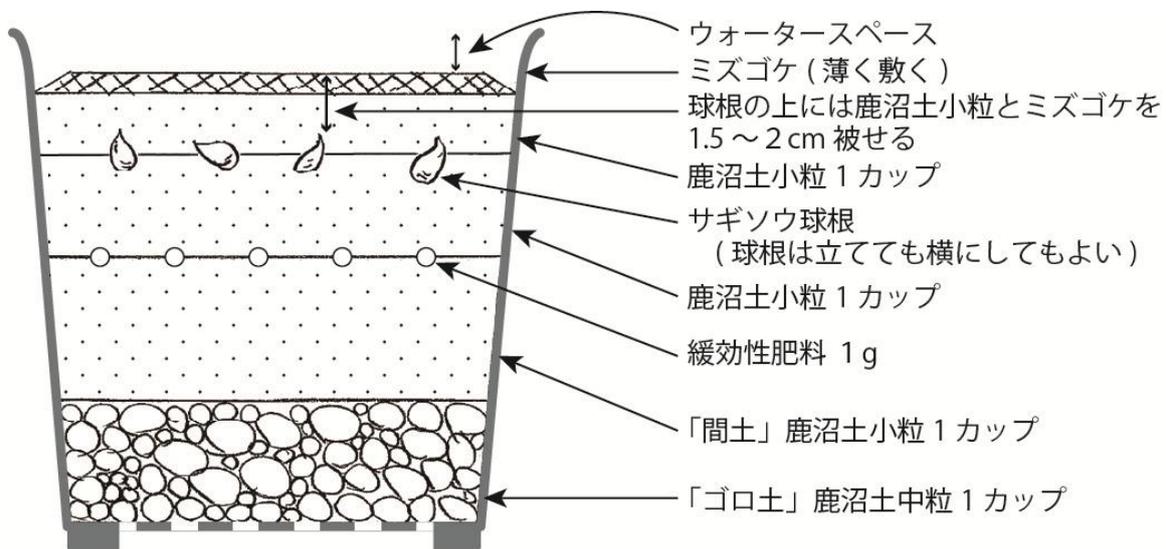
サギソウは他の植物との群生を好むため、寄せ植えもしくは数球を纏めて植えこむ必要があります。

#### 植え込み用土

湿地を好む植物なので以前は水持ちの良い水苔を使用していましたが、昨今の温暖化により、高温による鉢中の蒸れへの対策が重要になっています。一方、乾燥を防ぐ必要もあるため、上部のみ水苔を使用し、用土は鹿沼土(小粒)を使用します。

#### 植え方

下図のように、下から順に植え込みを行っていきます。水苔は中央を盛り上げず、均等に表面を押さえてください。最後にウォータースペースを残しておきます。



※1カップ=紙コップ1杯分(約210ml)

## 今夜の管理について

- ① 帰宅後、必ず水やりをしてください。鉢底から流れ出る水が透明になるまで、水やりを繰り返すことで、全体が落ち着きます。
- ② 防寒のため、新聞紙でくるみ、玄関口など、凍結しない場所で、管理してください。
- ③ ラベルは必ず挿してください（常に同じ方角から光が当たるよう、ラベルを目印とします）

## 翌日以降の日常管理について

- ・いつも戸外に置きます。室内では育ちません。  
日当たりと風通しの良い地上 50～60cm の棚上が最適です。
- ・6月中旬には、30%遮光ネット・防虫ネットなどで遮光してください。
- ・土の上に置くと泥の跳ね返りに合い、病害虫被害の原因になります。
- ・コンクリート・タイルなどの上は、高温と照り返しで鉢の中の温度が上がるため、避けてください。
- ・花後も、球根を育てる為に葉が枯れるまでは、開花までと同じ環境を保ってください。
- ・枯れた後は棚下など温度変化の少ない場所で、用土を湿った状態で保管してください。
- ・凍結は避けてください。（新しい球根が眠っています）

## 肥料

- ・植え込み時に元肥を入れたので追肥はあまりやりませんが、5～6月に1～2回薄い液肥（1500～2000倍）を与えて下さい。開花中はやりません。
- ・花後は球根を太らせるために、10月中旬までに3～4回同様の液肥を与えてください。

## 水やり

水苔は乾くと白くなります。表面の乾き具合を見てたっぷり与えてください。真夏は早朝もしくは日没後に与え、日中は避けてください。受け皿の水は根腐れや、鉢中の蒸れの元です。（根に新鮮な酸素が必要）

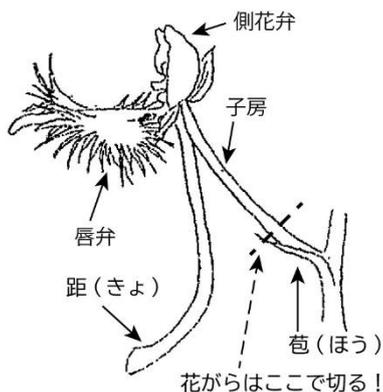
水やりの際には、水の流れを弱く、やさしく水をあげてください。水の勢いが強いと土がえぐれてしまい、球根が土から飛び出してしまいます。飛び出した球根に気づかず、そのままにしていると、球根は枯れてしまいます。

## 病害虫

・芽出し後と、花芽が出た頃に、アザミウマ、アブラムシ等の吸汁害虫やナメクジの食害に対し、以下の予防対策が必要です。

- ①清潔な環境を保つ。
- ②防虫ネットを掛ける。
- ③手で捕殺する。
- ④園芸用殺虫・殺菌剤を予防散布する。

## <サギソウの一生>

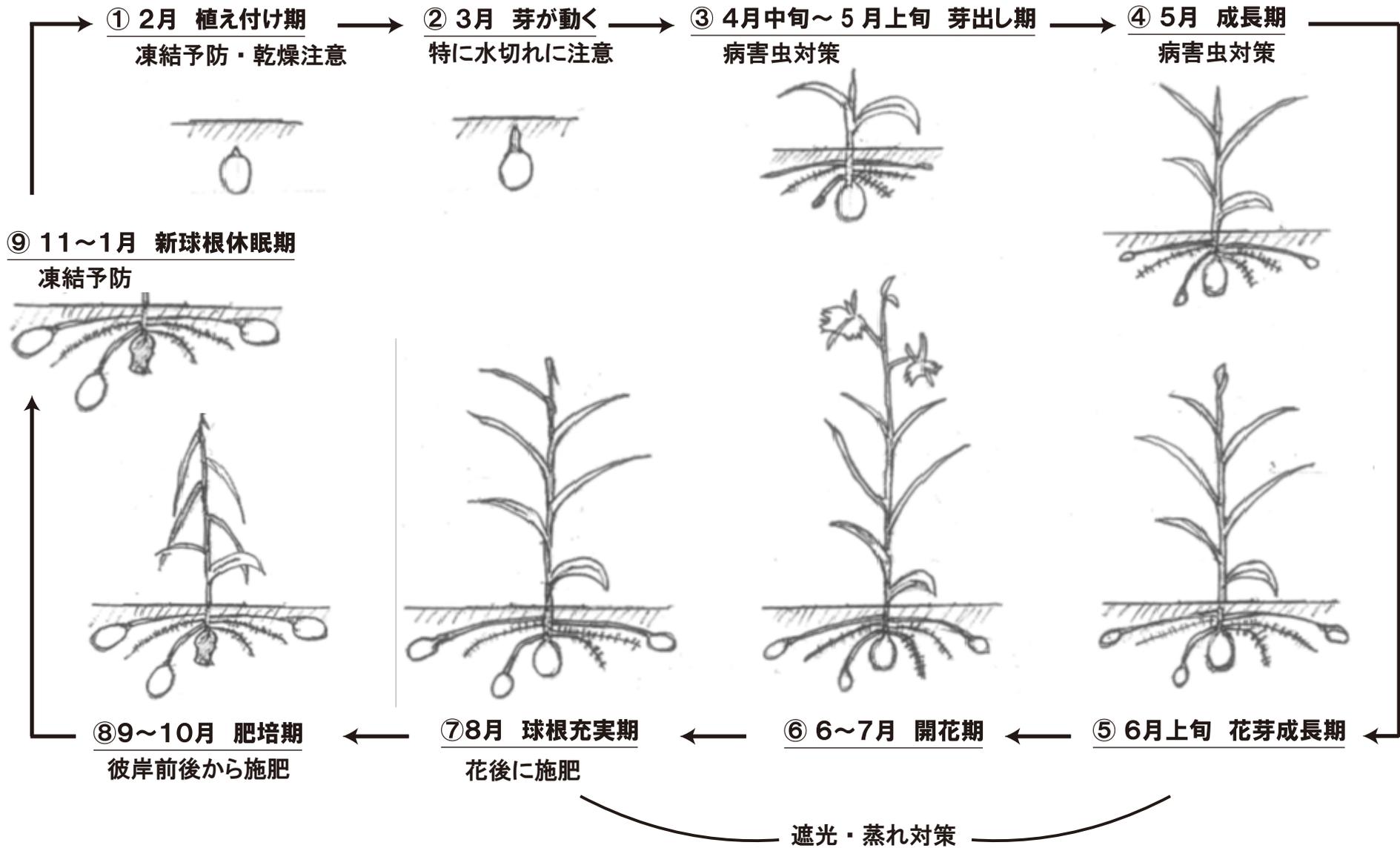


サギソウは地下に根とは異なった2～3本のランナーを伸ばし、その先端に新しい球根を作ります。種も出来ませんが、種から苗を作るとは難しく、一般的には行われていません。

花が終わったら、養分が球根へ行くように花がらを切り取ります。茎が枯れる頃には親球は死にますが、子球が育っています。従って、茎が枯れても乾燥させないように管理します。また、凍結させないでください。

花後は球根の育成を楽しんでください。

# サギソウ生育サイクル



サギソウの栽培では年間を通して水切れに注意してください

## サギソウの植え込み手順

(1) 鹿沼土中粒を鉢に入れます。入れたら、土は優しく平らにならしてください。



(2) 鹿沼土小粒を紙コップ1杯分入れます。鹿沼土中粒と同じく、土は山にならないように、優しく平らにならしてください。



(3) 次に、肥料1gを入れます。鹿沼土小粒の表面全体に広がるように撒いてください。



(4) 肥料を入れたら、その上に鹿沼土小粒を紙コップ1杯分いれます。  
入れたあとは平らにならしてください。



(5) いよいよ球根を植えます。(4) で入れた鹿沼土小粒に球根の三分の二くらいが埋まるように、軽く土に挿すように優しく植えます。



(6) 球根の上から最後の鹿沼土小粒を紙コップ1杯分いれます。入れたら、優しく平らにならしてください。



(7) 最後に水苔をいれます。水苔の量は紙コップ1杯分または写真のような握りこぶし1個分くらいです。



(8) 水苔は写真のようにハサミで切る、あるいは手で千切って細かくしながら入れます。



(9) 水苔を入れたら、平らになるように、全体を**軽く**押さえます。力を入れすぎると、球根を傷めてしまうので、注意してください。



(10) 水苔の縁を軽く押さえ、**中央部より心持ち低く**します（力を入れすぎないように）。



(11) 最後にラベルを挿して完成です。



サギソウの植え込み、お疲れ様でした。別紙の「世田谷区の花 サギソウ」の「今夜の管理について」と「翌日以降の日常管理について」をよくお読みいただき、大切に育てていただければと思います。

また、フラワーランド（世田谷区立瀬田農業公園）では、園芸相談を受け付けております。令和8年度より、水曜日と休園日の年末年始を除く、毎日午前10時から午後4時まで、お電話等でご相談を受けております。日常管理など、お気軽にお尋ねください。なお、都合により園芸相談員が不在の場合があります。

■■フラワーランド（世田谷区立瀬田農業公園） 所在地：世田谷区瀬田5-30-1 ■■

